



©KINPODO CanCan

<https://www.kinpodo.co.jp/>

金方堂松本工業株式会社

本社 〒110-8630 東京都台東区東上野1丁目28番12号

TEL 東京 03-3831-1191 (営業・企画)
03-3831-1199 (経理・総務)

大阪支社 〒530-0044 大阪府大阪市北区東天満2-6-5 I・S南森町ビル9階

TEL 大阪 06-6881-5505

九州営業所 〒846-0012 佐賀県多久市東多久町大字別府1461-1

TEL 九州 0952-20-1622

安行工場 〒334-0057 埼玉県川口市安行原100番地

TEL 安行 048-297-7711

滋賀工場 〒520-3306 滋賀県甲賀市甲南町柑子266番地

TEL 滋賀 0748-86-2446

佐賀多久工場 〒846-0012 佐賀県多久市東多久町大字別府1461-1

TEL 佐賀 0952-20-1621

KPD 250709

 KINPODO

会社案内

CORPORATE PROFILE



CAN&BOX

Package Laboratory KINPODO

金方堂の社名の由来。

“金”は金属、
“方”は全宇宙、
“堂”は製造業をあらわし
「宇宙まで伸びていく金属製造業」
という思いが込められています。



代表取締役社長

松本 旭央

(Akio Matsumoto)

ごあいさつ

スチール缶は古来文化より産業、生活の一部として親しみの深い容器であり、お菓子、お海苔、お茶、紅茶など、様々な用途に愛されています。缶の特徴として密封、防湿、遮光性、高級感の優れた機能とリデュース・リユースの利用価値、エコロジーの面から、非常にリサイクル率の高い容器です。

弊社は企業理念に「お客様第一」を掲げ、ご要望の缶を丹精込めて作り上げてきました。今では信頼と実績で築いた歴史・伝統技術を守りながら、時代の変化に適したデザイン、色彩、形状、品質、安全を考え、ニーズに合った企画提案し、満足して頂けるオリジナル缶をお届けしております。さらに品質保証として、平成13年には国際標準品質規格であるISO9001を認証取得しました。

また弊社では、企画、設計、デザイン、金型製作、印刷、生産、配送までを、グループで一貫して行い、『柔軟』、『スピーディー』、『正確』をモットーとして、信頼のおけるシステム運営をしています。

東京本社には業界最大規模のショールーム（はっけん島）を設けており、各コーナーを企画、研究、開発のヒントを得る場として活用していただき、発見、工夫、閃きを持ち帰っていただきたいと考えています。また、大阪支社にはミニショールームをご用意しておりますので、併せてご利用ください。

私たちは「打てば響く人、物、こと」をテーマに、お客様に喜んで頂ける製品づくりと、サービスに重点をおき、「金方堂を選んで良かった」と思われる会社を目指しております。今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い致します。

Corporate profile

会 社 概 要

商 号	金方堂松本工業株式会社
住 所	〒110-8630 東京都台東区東上野 1-28-12 新御徒町KMビル
電話番号	営業部(1F) TEL 03-3831-1191 / 経理・総務(4F) TEL 03-3831-1199
創 業	1905年(明治38年)
資 本 金	100,000,000円
事業内容	金属容器製造業
I S O	ISO9001認証取得
従 業 員	200名
営 業 所	東京本社／大阪支社／九州営業所
工 場	安行工場／滋賀工場／佐賀多久工場
関連会社	(株)心電エンジニアリング／金方堂運輸(株)／金方堂印刷工業(株)



Business outline

事 業 内 容

●表情豊かなパッケージ



多くの商品の中から、「消費者に選ばれる商品」の条件とはいったい何でしょうか？ もちろん品質の優秀さや信頼性が求められる

ことは言うまでもありません。しかし、最初に商品を見たとき、まず目に入るのはパッケージです。それは言い換えれば“顔”であり、第一印象はここでほとんど決まってしまうです。

金方堂では110年を超える長きにわたり、用途に合わせた多種多様な包装容器を作り続けてまいりました。

私たちの経験と技術、ノウハウを活かしたオーダーメイドによる、こだわりのパッケージづくりは、多くのお客様にご評価いただいております。きつとご満足いただけたと思います。

私たちは容器のなかでも主に一般缶を多く取り扱っておりますが、一般缶という言葉になじみのない方でも、お菓子や海苔、紅茶の缶などを、日頃の生活の中で目にされることは多いと思います。生活に密着した製品であること、それはつまり使いやすさはもちろん、湿気や外部衝撃からの内容物保護、他素材にくらべ群を抜きサイクル性、さらには他素材では表現しきれない程の輝く印刷性等、スチール缶容器にはすばらしい魅力がたくさんあるのです。

金方堂は企画からデザイン、試作、印刷、製缶、納品まであらゆるプロセスでお客様のニーズにお応えし、より優れたパッケージのご提供を通じて、皆さまの販売活動に貢献していきたいと考えています。まずは容器に関して、どのようなことでもお気軽にご相談ください。その際に東京本社ショールームへも、ぜひ足をお運びください。

Branch office & Factory

本 社 ・ 支 社 ・ 工 場

●全国に広がる生産体制

関東から北海道までのエリアを東京本社、中部から中国・四国地方のエリアを大阪支社、九州エリアを九州営業所が担当させていただきます。工場も3つの地域に置き、埼玉県の安行工場、滋賀県の滋賀工場、佐賀県の佐賀多久工場から全国へ配送しております。

製缶工場だけでなく、印刷工場、配送センターも完備し、一貫した生産体制で皆さまの信頼にお応えするサービスを

ご提供いたします。

また、本社ショールームにはパッケージのすべてを網羅した製品の数々を展示し、訪れた皆さまが企画・アイデアのヒントを持ち帰っていただけるよう、様々なレイアウト、商品の入れ替えなどを行っております。新企画の参考にぜひご利用ください。(なお、ショールームは予約制となっておりますので、ご了承ください)



- 1905年 明治38年、初代松本猪太郎により、下谷区西町の現本社所在地に、金方堂松本ぶりき製缶所を設立。
- 1935年 東京鋳力缶組合（現在の東日本一般缶工業協同組合）を結成、初代組合長に就任。
- 1939年 松本ぶりき製缶所改め、金方堂松本工業株式会社を設立。
- 1940年 松本猪太郎、関東鋳力製品協同組合理事長に就任。
- 1941年 軍需工場指定を受け、乾パン缶、砲弾薬函などを製造。
- 1943年 埼玉県に高階工場（後に川越工場）設立。
松本猪太郎、日本鋳力製品統制組合常務理事に就任。
- 1945年 「紙+アスファルト缶」などを新考案。
- 1947年 松本猪太郎、東京鋳力製缶工業協同組合常務理事に就任。
- 1954年 松本一郎、第二代社長に就任。松本猪太郎は会長に就任。
- 1955年 埼玉県川口市に川口工場を建設（川越工場から移転）。
松本猪太郎、東部5ガロン缶工業調整組合設立、理事に就任。
- 1956年 日本工業規格（JIS）表示工場の指定を受ける。
- 1961年 いぶし缶（金属容器の燻式印刷法）特許申請。
- 1963年 金方堂協力工場協同組合を設立。
本社ビル竣工。
- 1965年 金方堂グループ系列工場として、金方堂印刷工業有限会社を設立。
松本猪太郎、紺綬褒章を受章。
- 1966年 第17回輸出包装展覧会において、商工会議所会頭賞を受賞。
- 1967年 国際アメリカン学術協会より、産業貢献の業績に対してアカデミー賞を贈られる。
蓮田工場（後の第一製缶株式会社）を設立。
- 1969年 大阪府高槻市に大阪営業所を開設。
埼玉県川口市安行に集配センターを設置。
埼玉県草加市に草加工場を設立。
- 1971年 大阪市北区に大阪営業所を移転。
- 1973年 松本猪太郎、勲四等瑞宝章を受章。
滋賀工場稼働。
組上缶、製法特許登録。
- 1975年 松本一郎、全国鋳力製品工業団体連合会会長に就任。
製菓総合展にニュープラ缶ほか新製品を出品。
- 1976年 松本一郎、東部5ガロン缶工業組合理事長に就任。
溶接缶、製法特許登場。
- 1981年 東京晴海包装展出展。



松本猪太郎（後列左端）と従業員（明治44年）



昭和初期の製缶作業場



昭和20年代後半の本社。左側が事務所、右側が東京工場。



第16回全国菓子大博覧会に出品（昭和40年）



新工場棟が完成。手前が川口工場、奥が従業員寮。

- 1982年 松本一郎、藍綬褒章を受章。
- 1984年 東京菓子大博覧会に協賛出展。
- 1985年 本社ビル建て替え完成。
- 1987年 金方堂運輸株式会社を設立。
- 1988年 新型シールド缶（現在のKシールド缶）を開発。
- 1990年 松本一郎、全国5ガロン缶工業組合連合会理事長に就任。
- 1991年 松本一郎、全国ブリキ製缶工業会会長に就任。
- 1992年 松本一郎、勲四等瑞宝章を受章。
- 1993年 川口市安行に第二工場を建設。
- 1995年 株式会社心電エンジニアリングを設立。
松本卓三、第三代社長に就任。
松本一郎、会長に就任。
- 2001年 松本卓三、東京都鉄二厚生年金基金理事に就任。
ISO9001認証取得。
- 2005年 松本卓三、東日本一般缶工業協同組合理事長に就任。
金方堂ホームページ開設。
- 2006年 松本卓三、東京都鉄二健康保険組合理事に就任。
- 2007年 松本卓三、全日本一般缶工業団体連合会会長に就任。
- 2009年 竹内雅夫、第四代社長に就任。
松本直子、会長に就任。
竹内雅夫、東京都鉄二厚生年金基金理事に就任。
- 2011年 竹内雅夫、東日本一般缶工業協同組合理事に就任。
大阪営業所を大阪支社へ変更。
- 2012年 金方堂のマスコットキャラクター缶缶を商標登録。
- 2013年 竹内雅夫、全日本一般缶工業団体連合会理事に就任。
- 2014年 佐賀県多久市に佐賀多久工場を建設。九州営業所を開設。
川口市安行に第二倉庫を建設。
海外事業部を開設。
香港メガショー2014出展。
- 2015年 香港メガショー2015出展。
- 2016年 技術開発部を新設。
- 2017年 九州『菓子の総合展示会』出展。
- 2021年 松本旭央、第五代社長に就任。竹内雅夫、会長に就任。
松本直子、顧問に就任。



©KINPODO CanCan

※マスコット缶缶は金方堂の登録商標です。
（登録第5466844号）

佐賀県多久市との締結式
（右：竹内雅夫）



佐賀多久工場



安行第二倉庫



香港メガショー



『菓子の総合展』金方堂ブース

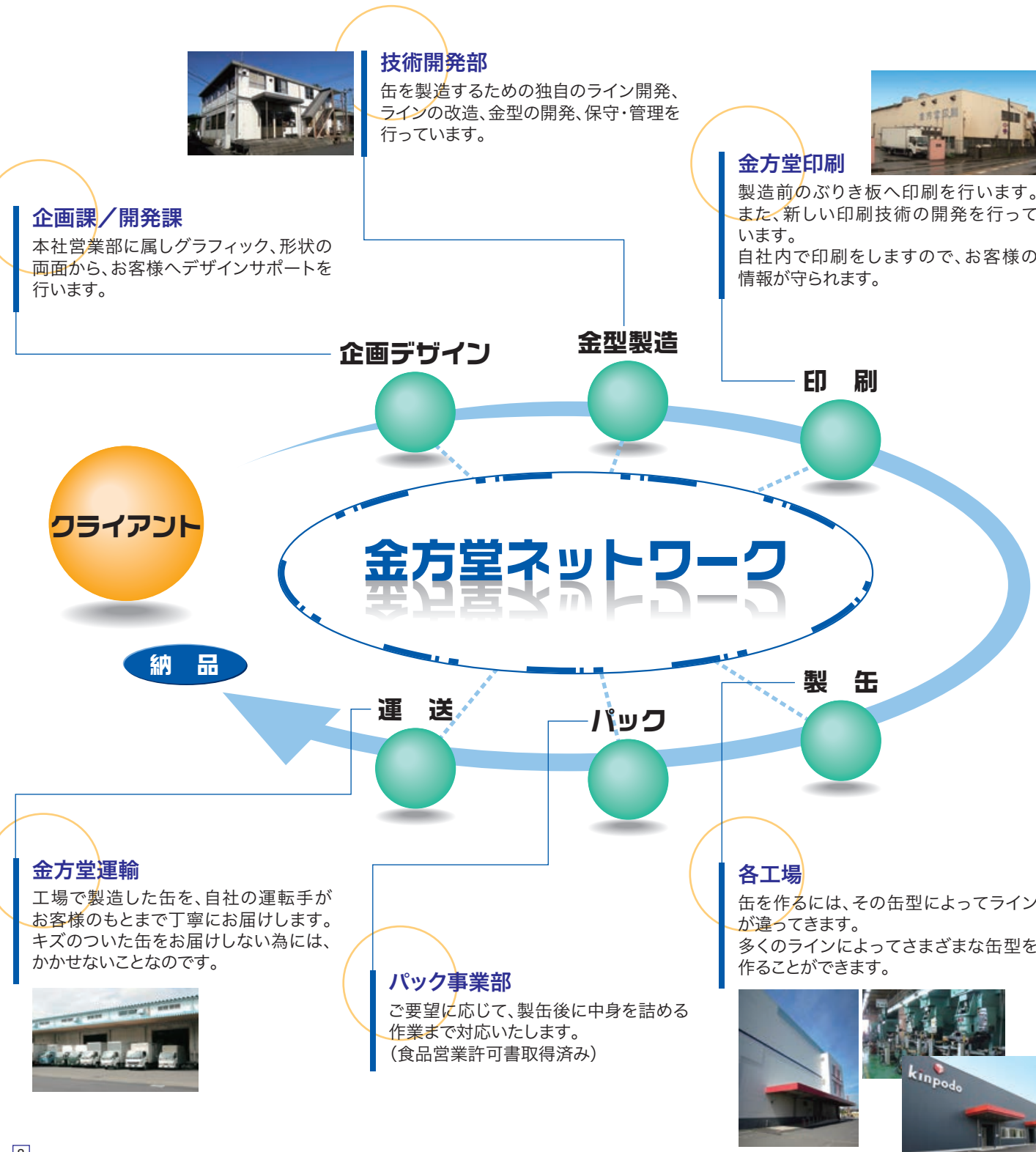
Kinpodo network

金方堂のネットワーク

●一貫したサービス体制

金方堂では、企画・デザインから試作、金型製造、印刷、製缶、納品まですべての工程をグループ内で行っています。
一貫した生産体制を確立することにより、ロスが少なく高品質な製品をお客様のもとへお届けすることができるのです。

発売前の商品の秘密を守り、安心と安全をお届けする
こだわりのオーダーメイド製缶は、こうしたネットワークにより精度・効率を高めています。

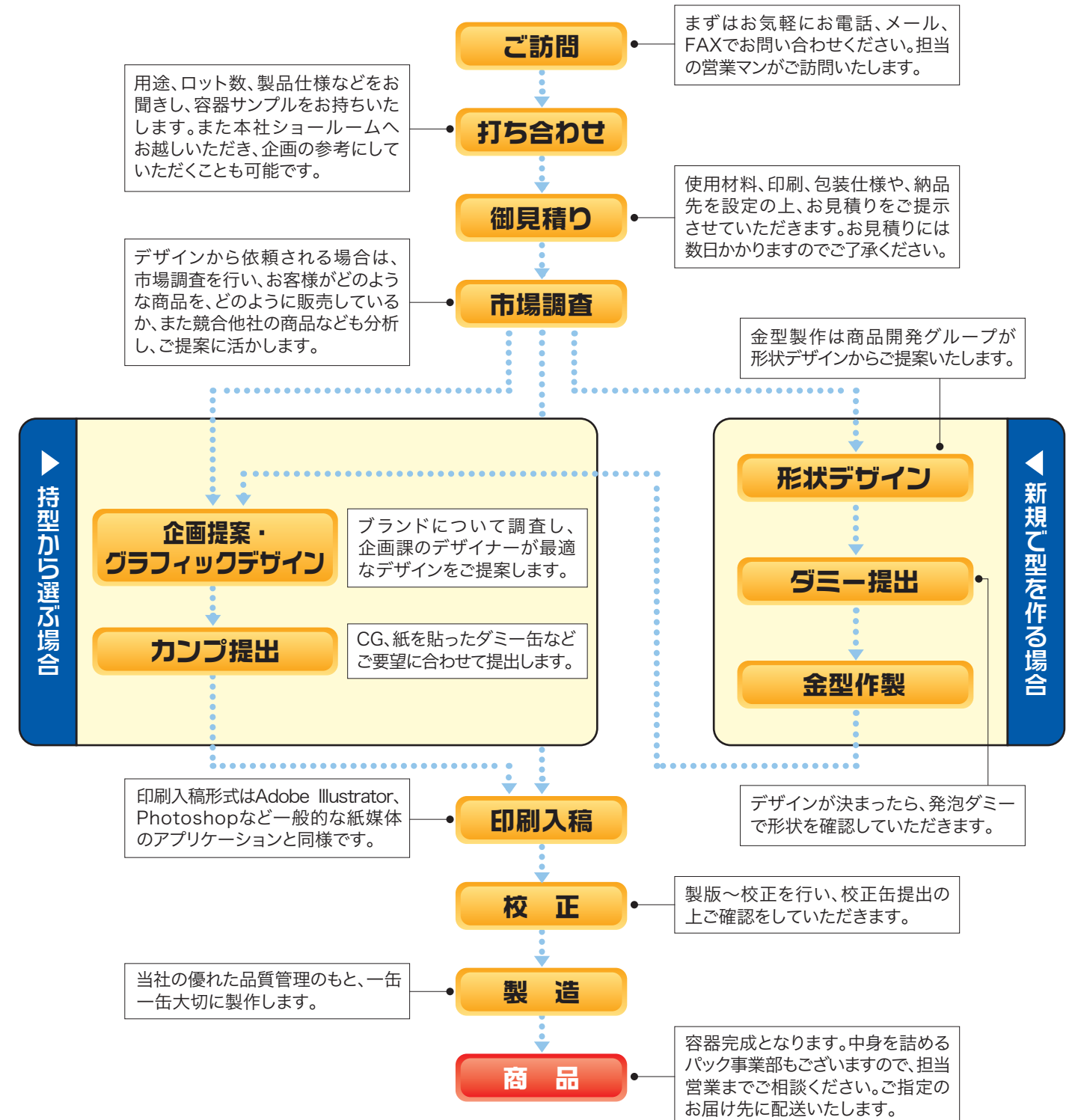


Flow chart

商品完成までの流れ

●商品作りをサポート

担当営業がお打ち合わせから納品までを、サポートさせていただきますが、もしデザインにお困りでしたら、弊社企画課のデザイナーがご要望をお聞きし、デザイン案提出から入稿データ作成までお手伝いさせていただきます。



●地球に優しい缶

一般缶は鉄で出来ています。鉄はリサイクル資源として何度でも繰り返し回収され、また鉄に生まれ変わります。この地球環境にやさしいエコ素材をぜひ、容器としてご採用ください。



●スチールマークについて

一般缶材質表示マークは、全日本一般缶工業団体連合会が、スチール缶であることを容易に判別できるマークとして制定し、スチール缶のリサイクル率向上を目的に作成した自主マークです。

材質表示マークの下につけるコピーは3種類あります。該当するコピーを選んでご使用できますが、コピーなしでも表示可能です。



コピーは3種類
1.付属品は除きましょう
2.リサイクルできます
3.洗ってリサイクルへ

●容器包装リサイクル法とスチール缶

容器包装リサイクル法とは、家庭ゴミの約6割が容器包装廃棄物であることから、一般のゴミを少しでも減らすために、1995年「容器をリサイクルしよう」と始まった法律で、使用済み容器の再商品化が義務となっています。しかし当時から、スチール缶は高リサイクル率を誇っており、独自の回収ルートも確立していたため、容器包装リサイクル法で義務化されずに済んだのです。このことから分かるように、スチール缶は容リ法が始まる以前から、エコロジーを意識したリサイクル活動により、環境に優しい容器だったと言えます。



鉄は磁石による選別が可能
なため、非常に分別しやすく
リサイクル素材として優秀な
のです。

●はっけん島

東京本社3階にある金方堂ショールームは、通称『はっけん島(じま)』と名付けられ、企画・アイデアのヒントを発見し持ち帰っていただくための場所です。一般缶だけでなく様々な容器を展示してあるので、形状から考えるヒントになることでしょう。

※ショールームは商談スペースを兼ねているため、ご見学は予約制となっております。来訪前に営業部までご連絡ください。

■商品見本

“角缶村”や“丸缶村”といった形状別のコーナーでは、お探しの缶型を発見しやすくなっています。また、クリスマスやバレンタイン等イベント別の商品を展示したコーナーが見所です。

■他容器・他包材

一般缶だけでなく紙器、プラスチック製容器、陶器、木箱などたくさんのパッケージを展示して、お客様のアイデア出しの参考になるようお手伝いします。

■海外コレクション

“世界の財宝”と題したコーナーは、海外から集めためずらしい一般缶を展示。こちらも新型を企画する際の参考にしてください。



はっけん島ロゴマーク

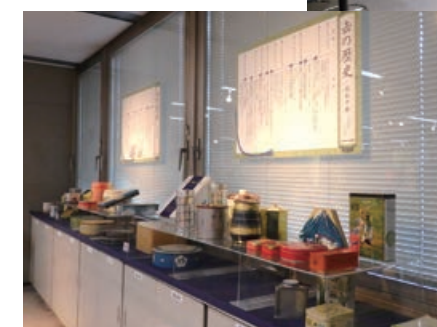


フロアマップ



ショールーム新商品コーナー

商談スペース



歴史コーナー